

新年に当たり

謹んでごあいさつ申し上げます

今年は一巡した干支がまた新たに始まる「子年」です。植物に例えれば、新しい命の宿った種子が成長に向け膨らみ始める時期であり、未来への大きな可能性を感じさせる年でもあります。

昨年は令和元年台風第19号により、県内でも尊い人命が失われ、家屋や店舗、工場等の浸水をはじめ、河川・道路、農地や森林、農作物等に甚大な被害が発生しました。被災地の一日も早い復旧・復興に向け、今年一年が栃木県の新たな飛躍の始まりとなることを心から願いつつ、県民の皆様の生活や生業の再建を全力で支援して参ります。

さて、現在県では、「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な」とちぎ」の実現に向け、栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」の総仕上げを行うとともに、中長期的な展望に立って次期プランの策定を進めております。また、今年3月に策定する栃木県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生15戦略」に続く次期戦略では、人口減少問題の克服と地域の活力の維持に努めて参ります。

具体的には、本県の地理的優位性を生かし、とちぎの未来を担う若者の東京圏からのUIJターンや、将来的な移住にもつながら「関係人口」の創出・拡大に取り組むとともに、あらゆる分野における未来技術の導入を促進し、企業等の生産性や県民生活の利便性の向上等を図るほか、防災・減災、国土強靱化の推進により安全・安心なとちぎづくりにもつなげて参ります。

3月には、本県において東京2020オリンピック聖火リレーが実施されます。また、夏の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、ハンガリー選手による事前トレーニングキャンプも予定され、多くの外国人観光客の来日が予想されることから、拡大するインバウンド需要を取り込むほか、その2年後に本県で開催する第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」につきましても、県民総参加で感動を共有できる大会となるよう、各種取組を着実に進めていきたいと考えております。

県民の皆様が未来に希望を抱き、ふるさとに誇りを持つるとちぎを創るため全身全霊で取り組んで参りますので、一層の御理解と御支援をお願いいたします。

令和2年1月

栃木県知事 福田 富一